

調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）

みんなで目指そう！ ごみを減らしてゼロカーボン都市 調布



令和5年3月

調 布 市

はじめに

近年、気候変動や海洋ごみなど、地球規模の環境問題がますます深刻化しており、低炭素・資源循環の推進に基づく、「持続可能な社会の形成」が世界的に取り組むべき課題となっています。本市においても「持続可能な開発目標（SDGs（エス・ディー・ジーズ）」の達成に向け、国や東京都の施策と連携強化を図りつつ、令和2（2020）年4月に策定した「CHOFU（調布）プラスチック・スマートアクション」に基づく活動のほか、令和3（2021）年4月には、市民や事業者等の多様な主体と力を合わせ2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けてオール調布で取り組むことを宣言するなど、持続可能な社会の形成に向け、環境施策を積極的に推進しています。

今回策定した「調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）」は、ごみの発生・排出抑制を最優先とした3Rの推進及び廃棄物の適正かつ安定処理を継続するとともに、低炭素社会・循環型社会の形成に向けた取組を進めていく計画としています。その達成に向けては、市民・事業者・行政等によるそれぞれの取組と併せて互いの連携が不可欠であり、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄を基本とする線形経済（リニア・エコノミー）から循環型経済（サーキュラー・エコノミー）へと変革し、資源の節約・循環や自然環境の保全を進めていかなければなりません。本計画では、前計画における進捗状況の評価・検証結果を踏まえるとともに、計画目標に設定した二酸化炭素排出量の削減や、重点施策として位置付けたプラスチック類の発生・排出抑制、資源化の推進、食品ロスの削減及び災害発生時の対応など、新たな施策を位置付けており、調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会から今後、ご意見をいただきながら持続可能な社会の形成に向け各施策を着実に推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、調布市一般廃棄物処理基本計画策定委員会の委員各位並びに多くの市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに、感謝申し上げます。

令和5年3月

調布市長

長友貴樹



目 次

第1章	計画の基本事項	1
第1節	計画策定の目的	1
第2節	計画期間	1
第3節	計画の位置づけ	2
第4節	計画対象廃棄物	3
第5節	計画書の構成	4
第6節	計画策定体制	5
第2章	ごみ処理に関する現状と課題	6
第1節	本市の人口・ごみ量等の状況	6
第2節	国・都や国際的な動向	15
第3節	計画策定に向けての課題	18
第3章	ごみ処理の基本理念と目標	22
第1節	基本理念	22
第2節	各主体の役割	24
第3節	ごみ処理基本計画の体系と重点施策	26
第4節	計画目標	31
第4章	個別計画	35
第1節	発生・排出抑制計画	35
第2節	資源化計画	39
第3節	収集運搬・中間処理・処分計画	43
第4節	情報発信及び連携・協働計画	47
第5章	生活排水処理基本計画	51
資料編	52	
計画策定の経過等	72	
用語集	74	